

## 事業所評価

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			活動によって場所を決め、集中できるような環境を設定している。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			保育士、児童指導員が在籍している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			車椅子でも利用できるようにスロープがついており、バリアフリー化されている。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			問題があった時にはその都度話し合いをし、改善につなげている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			毎年アンケートを実施し、業務改善につなげるよう努めている。
	⑥	この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			法人のホームページにて公開する。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			実地指導にて評価を受け、結果を業務改善につなげている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			月に一度、事業所内で発達障害についてや療育についてなどの勉強会を行っている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			児童発達支援管理責任者がアセスメントを行い、それに基づいて個別支援計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			アセスメント用紙を使用している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			毎月活動予定を全職員で計画している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			作品作りや体を動かすゲーム、長期休暇時には外出など、固定化されないよう工夫して立てている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			平日、休日、長期休暇に応じてプログラムは変えており、細かく設定している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			休み時間や学習は個別活動、グループ活動は集団活動として組み合わせ作成している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			支援開始前には打ち合わせをし、各担当児童の支援などについて、細かく話し合っている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか	○	○		送迎の関係で行えず、その日にあった特記事項のみ話し合い、その他については翌日に必ず打ち合わせを行っている。
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			勉強会でも記録の取り方について取り上げたり、その都度内容が不十分な場合は指導したりしている。	

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			6ヶ月に一度行い、見直しの必要性についての判断を児童発達支援管理責任者中心にしている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、4つの視点からも支援を行っているか	○			放課後等デイサービスのガイドラインの基本活動を複数組み合わせ、4つの視点からも支援を行っている。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			事前に職員間で意見をまとめ、児童発達支援管理責任者が参画している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			下校時間の確認や引き渡しの方法など学校や保護者と連携をとっている。変更があれば電話連絡で調整を行っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		現在はいないため、今後医療的ケアの児童が利用することになれば、主治医との連絡体制を整えたい。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	保護者からのみ聞き取りをしていた。今後、切れ目のない支援を行っていくためにも情報共有をしていきたい。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			今年度、学校を卒業し障害福祉サービス事業所へ移行する児童がいるため、学校を含め情報提供をする予定である。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			発達障害者支援センターのぞみのナイトセミナーや事例研修等に積極的に参加をしている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	公園で会う機会があり、一緒に遊具で遊ぶことはあった。今後も触れ合う機会を作りたい。
	㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			連絡帳に記載したり、送迎時に伝えたりしている。問題があれば面談も行っている。
保護者への説明責任等	㉘	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		ペアレントトレーニング等の支援までは行っていないが、できる限り保護者に寄り添いながら助言をしている。
	㉙	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時や見学時に用紙を提示し、説明を行っている。
	㉚	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			送迎時や電話等で、保護者からの話を傾聴し必要な助言を行っている。学校との連携が必要な場合は三者で話し合いを行うなどの支援を行っている。
	㉛	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	今後、本事業所の活動を通して保護者同士の連携も支援していきたい。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	③②	子どもや保護者からの苦情について対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情があった場合に迅速かつ適切に対応できるように、苦情解決マニュアルを作成し、見えやすい場所に提示している。
	③③	定期的な会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			長期休暇の活動や送迎についてのお知らせ、毎月のグループ活動の予定表を配布している。
	③④	個人情報に十分注意しているか	○			記録を書く際イニシャルで書いたり、個人ファイルは鍵付きの書庫へ保管したりしている。
	③⑤	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			連絡帳を使用したり、送迎時に伝えたりしている。
	③⑥	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		同法人の嘉百合園の秋祭りやサッカー教室に参加をしている。
非常時等の対応	③⑦	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		作成はしているが保護者に配布はしておらず、掲示のみ行っている。
	③⑧	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年2回、嘉百合園と合同で行っている。
	③⑨	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止研修に参加をしたり、勉強会でも虐待について取り上げている。
	④⑩	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○		現在、身体拘束は行っていない。今後必要な場合は他の方法はないか話し合い、それでも必要な場合は組織的に決定をし、保護者にも十分に説明をし、個別支援計画にも記載をしていく。
	④⑪	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		アセスメント時に保護者に聞いている。
	④⑫	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハットがあれば話し合い、事例集を作成している。

## 保護者評価

期間 令和3年1月25日～2月19日 配布15名 回収12名 回収率80%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見	事業所コメント
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	8	3	1		長期休暇には広々と活動ができるよう体育館等利用していきたい。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	9	3	0		専門性を高めるため引き続き研修への参加、専門家との連携をとっていきたい。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	9	3	0		
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	12	0	0		
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	11	1	0		
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	8	3	未回答1	事業所内のみでの関わりではなく、地域でも関わりが持てるようにしていきたい。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	12	0	0		
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	12	0	0		
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	12	0	0		
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	0	6	5	未回答1	保護者同士も連携が支援できるような行事も考えていきたい。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	3	1		
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	11	1	0		
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	6	6	0		定期的に活動の様子をお伝えできるように会報も、配布できるようにしていきたい。
	⑭	個人情報に十分注意しているか	12	0	0		

非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	9	2	0	未回答1	分かりやすい掲示をするなどしていききたい。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4	7	0	未回答1	避難訓練やその他行事についても定期的にお便り等で発信していききたい。